

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（新約聖書）	1	後期	必修	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、前期に培った旧約聖書の知識を土台として、新約聖書の基礎であるイエス・キリストの生涯と教えや弟子の働きについて理解を深め、キリスト教が世界に広がった経緯について学ぶことを目的としている。新約聖書を土台とするキリスト教の行事についてグループ発表を行い互いに視野を広げ、最後には1年間のキリスト教の学びの集大成として建学の精神である「感恩奉仕」について個人が向き合い考えを深められるよう、毎回の授業では聖書の輪読や紙芝居、DVD鑑賞やディスカッション、発表など、様々な形態での学びを工夫した。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。チャペルでの学びを、総合的に把握できるようになった。</p> <p>③学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、一年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何を受け取ったのか把握できるようになった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>"授業評価アンケートの結果は、自分なりの目標を達成した(4.2)、知識理解に関しては(4.3)であった。到達度の自己評価の平均値は(4.2)。トータル成績の平均値は約80%以上。チャペルの視聴率約80%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、新約聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えます。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標がやや達成されたと言えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「旧約聖書」の学びを踏まえ、展開している。旧約聖書の学びを前提としての発展的な学びとして新約聖書の学びを深めるだけでなく、チャペルや教会訪問を通して全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性
新約聖書の内容を視覚教材を取り入れながら学び、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、学生たちが意欲的に取り組んだ。グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価についての平均値は(4.3)であった。遠隔授業においてもチャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル体験へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。

本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が3.9、「学生の意見を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は(4.0)であったが、2年次以降も学生が聖書を開いて日常生活に取り入れられるよう、仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、旧約聖書を土台に発展的に展開していく上で、旧約での学びが重要である。旧約の復習も講義に加えつつ、通常では、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。今年度ははじめての遠隔であったため大人数ということもあり、グループ発表をすることができなかったが、次年度は工夫して、大人数で遠隔でも発表できる手法を獲得したい。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に意識できるよう促すことが課題である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と文化	2	後期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キリスト教で学んだ知識をもとにキリスト教に関する視野を広げていく内容である。キリスト教の歴史について概観した後、聖書を土台とした芸術作品の鑑賞、キリスト教音楽や文学作品を味わうことによって、キリスト教を土台とした文化について視野を広げることができた。最後には、学生自らがキリスト教文化に関するテーマを自由に設定し、各々の興味関心についてレポートを書くことができた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関して、また到達度自己評価の平均値はいずれも4ポイント以上であった。トータル成績の平均値は約80%以上。聖書を土台として西洋の文学作品・芸術作品に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えよう。また、チャペルレポートの提出やクリスマス礼拝への参加は95%以上であり、コメントカードの内容と感想文の内容から、チャペルや教会訪問を通し、キリスト教の価値観を養うことができる、という行動目標も達成された。</p> <p>1. 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察できる。</p> <p>2. キリスト教に関連するテーマを調査し発表を行い、教養を養うことができる。</p> <p>3. チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/></p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業評価アンケートの結果より、知識理解に関して、また到達度自己評価の平均値はいずれも4ポイント以上であった。トータル成績の平均値は約80%以上。聖書を土台として西洋の文学作品・芸術作品に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。また、チャペルレポートの提出やクリスマス礼拝への参加は95%以上であり、コメントカードの内容と感想文の内容から、チャペルや教会訪問を通し、キリスト教の価値観を養うことができる、という行動目標も達成された。

1. 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察できる。
2. キリスト教に関連するテーマを調査し発表を行い、教養を養うことができる。
3. チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本講義は、キリスト教の学びをより深めたい学生の興味に応じることが重要である。授業の質評価の平均が4ポイント以上であったが、対面授業に戻り次第、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが主体的に意見交換ができるような進め方を工夫したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

講義としては質評価の結果に表れているように妥当であったと言えるが、今年度は遠隔授業となったため学生のグループ発表をすることができなかった。対面授業に戻り次第、学科横断科目の性質を生かし、受講生との多角的な意見交換ができるような方法を工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーⅡ	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1、初年次セミナーⅡは初年次セミナーⅠからの円滑な移行を図るための教育として位置づけ、まず大学での学習方法を理解してもらう。大学での学習には不可欠な要素である「読む」「書く」「話す」「考える」「文献を探す」のアカデミックスキルの基礎を習得することを目指す。</p> <p>2、授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行い、学習者の関心事を新たに加えた。</p> <p>3、毎回新聞記事を要約、問題意識、講評等を発表練習し、社会への関心度を高めてもらうためである。さらに「社会人基礎力」のうち、本学学生が比較的苦手とされる実行力、課題発表力、発信力等を演習を通じて身に付けてもらった。</p> <p>4、学習ゲームを取り入れ、議論や問題解決の手法の学習意識を向上するようにしてきた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	最終的な成績の平均値は92点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したのである。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、マップじょうの位置づけから見て、総合人間科学の基礎科目であり、次の学科の専門演習科目、卒業研究を繋ぐ要の位置にある。内容的に妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均4.5、「説明は理解しやすいものであった」の平均4.5となったが、課題を準備する時間が想定より少なかったことが学生からのコメントであるため、次年度に設定を見直したうえで学生に事前に予習、復習を徹底的にするように促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

初年次セミナーIIは基礎的知識の形成、学習の方法については概ね達成できたが、指導を引き続けていく必要がある。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナーII	1	後期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は前期に実施した「初年次セミナーI」に続き、大学での学びの導入科目となる性格を有している。しかし、受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生が15.4%しかいない。新入生対象科目のため、本科目の開講趣旨を入学当初は理解できていないことは仕方のないことかもしれないが、大学での授業の受け方、学習の取り組み方などを学ぶ貴重な授業であることから、この点を入学時にできるだけ丁寧に、かつわかりやすく説明していく必要があると思われる。また、授業においては大学での学習は自ら主体的に取り組まなければならないこと、また、高校までの学習と異なり、必ずしも正解が用意されているとは限らないことを繰り返し説明していくことで、大学での学習に慣れて頂けるように工夫している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価をみると、平均値が3.9～4.2と総じて高い値を示していることから全体を通して教育目標は達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP:カリキュラムマップ上の位置づけからみる内容的妥当性：本科目は必修科目であり、大学での学習を始めるにあたり、その導入となる性格を有している。大学での学習の取り組み方、図書館等での情報収集の方法やレポート作成方法などを学ぶことから内容的には妥当であるとする。 ②DP、行動目標からみる内容的妥当性：大学での学習の手始めとなる科目であるから「知識・意欲・態度」といったDPがふさわしく、その意味で内容的には妥当であるとする。

③以上より、内容的妥当性は問題はないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては4.2~4.5の平均値をマークしているため、本科目が大学での学習の導入科目としての位置づけとしての役割を全うできたのではないかと考えている。ただし、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け、それに答える機会が与えられていた」という項目については他と比べ平均値が若干低いため、今後は学生が意見を述べる機会を増やすなど、次年度に向け検討したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今回は遠隔授業となったため、対面授業と異なり授業の工夫が一層必要となった。しかし、それに関わらず授業の質評価については4.2~4.5の平均値となったことから、授業目標は達成されたと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者は、学期の始講と最終講にて体力測定と体組成の測定を行ない、授業の運動量と身体組成や健康度との関係の把握と実体験できるようにした。実技中は全員準備されたカロリーカウンターを装着し、実技中の運動量（歩数、カロリー）を記録し、運動量と消費カロリーの関係を体感しただけ把握できるようにした。</p> <p>また、始業から3回の講義では、「筋力トレーニングの方法と機器の使い方」、「持久性トレーニングの方法と心拍数を基準とした運動強度設定」、「ストレッチ体操の方法と実用」について講習を行い、授業外や放課後に自ら運動処方ができるようにした。</p> <p>授業中は装着したカロリーカウンターを基に、自己の運動量の把握をした上で目標運動量を見出し、運動意欲を喚起した。その毎時間記録と評価は、学期末でまとめ、実習期間全体の取り組みを自己評価し、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係を体感し理解できることを目標とした。</p> <p>生涯スポーツでは、生涯に渡る運動習慣や運動的趣味の獲得を考慮し、地域等で行われているスポーツのチーム戦を想定した種目を取り上げた。また、種目が変わる毎にメンバーの入れ替えを意図的にを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションを図れる様にした。ゲームではチームミーティングを頻繁に行わせ、戦略立案や実行とチームの中での個人の行動法を実行し、より積極的に実践的スポーツができることを心がけた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81±6.7点で、再試対象は0名であった。</p> <p>ほぼ全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達したものは16名/19名（66%）であった。</p> <p>目標達成できたと答えた総数は16人中16名であった。</p> <p>「自己達成度」は平均値が全項目で3.8～4.3の間(中央値4.0)にあり、「授業の質の評価」も3.8～54.1であった。「コミュニケーション力・表現力の獲得」では是認良かったと思っており、授業の成果と思われる。</p> <p>予習、復習の課題が少なく、授業以外での取り組みは7人(16名中)とやや積極性がなかった。</p> <p>シラバスの情報を参考にした者6名/9名と低かった。</p> <p>欠席する者は少なく全員が積極的に受講していたが、今後、より真の関心を高めるような方法を考えたい。また、教科書以外の資料をインターネットを利用し、配布やアンケートの回収を行い工夫のポイントを拡大したい。</p> <p>自由記述では、概ね分かりやすい授業だったという意見が多く授業進行は良かったと思われる</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性について
本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識である。また、生活信念、健康志向、美容的自己管理においても大きく関わりのある科目内容である。学生が一定の成績を収めていたことから、内容的には妥当な内容であったと考える。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性について
成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高まれば、もう少し深く進める事も出来ると考える。

③受講動機で内容に関心がある学生よりも、単位獲得目的の学生の方が多く、「受講動機」が曖昧な学生も多い中、「学習到達度の自己評価」は60名(60人中)が達成できたと考えており、本科目が妥当な内容であったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量の評価において、予習を全くしなかった者が7名(16名中)であった。
毎回授業の復習、興味関心をアンケートしたことで関心が高まっていけば幸いである。
シラバスを参考にしなかった者が6名(16名中)、授業計画を立てなかった者が7名であった。
オリエンテーションにて十分な説明をしたせいかシラバスの利用者は6名と少ない。
次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

授業目標への達成を受講者が評価しているが、さらなる学生の積極的な参加態度を産みだし、健康作りのための授業以外の運動習慣を促し、生涯スポーツを持てるような動機付けができるようにさらに改善したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史の学習を通して、現在に続くジェンダー問題の所在を確認することを重点化し、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回に女性史を学ぶ意味が「伝統」を疑う知的根拠を獲得すること、そのためにジェンダーの視点で歴史を見直すことを伝え、全講義の流れを、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までであること確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解することを目標としていたが、歴史に関する基礎知識量や歴史的関心の差が学生間で見受けられた。試験前に、授業の総復習をして、ジェンダーの視点でみる近代日本の女性の位置づけを確認した。試験の結果からみると、得点分布は上位にやや傾きがあり、ポイントはおおむね理解していることが確認された。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるよう、ネットで取得できる最新のデータを示した。また、テレビや映画で描かれた女性像もネット動画で視聴できるものを活用し、時代背景を映像で確認するとともにジェンダーの視点で製作者の意図を考えさせた。おおむね内容的妥当性は認められるが、当事者性を持って考えるまでに至らない一部の学生は存在した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初回の授業で、通説となっている歴史観をジェンダーの視点で見直すと新たな歴史が見えることを伝えた。授業では近現代史が中心であるが、各自の高校までの歴史授業による知識量に格差がある点を踏まえ、インターネット上の図表や動画も使用した。他学科も合わせると人数が多いのが課題であるが、今回はオンラインだったので、ネット上で質問を投げかけ、双方向的なやり取りを確保した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

女性史は範囲が広いので、主に日本の近代史を中心に絞り、現在の女性の状況と関連付けて授業を進めたために、生徒の関心を現状のジェンダー課題、すなわち固定的性別役割分担意識に集中させることができ、知識の理解を深められたと評価できる。今後は、日本の歴史を学ぶことを通して国際的なジェンダー平等についても知識を広げたいと、日本の課題を改めて客観的に考えられるよう思考力を高めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代社会においてなぜ文学を学ばなければならないか、まずそこから学生に解かねばならない。その理由と目的を理解させることから始めた。つまり「文学とは実学である」ことを中心軸に置き、学生自身の生活、選んだ専門分野を重ねて鑑みることによって、日常触れている表現、言葉、歴史、心、時代性、古典等々の事柄すべてが繋がってゆくものであることを知り、生きてゆく上での自身のアイデンティティと切り離せないものであることがわかるのである。そういったことをベースにして文芸学の諸問題の実例を掲げながら考察する。したがって私たちがドラマや映画を見て感動することは、即ち自分自身の人生を客観的に眺めていることと「文学」が同じでありそれを学生が実感することがまずは重要なのである。ここまでが第一の重要点である。そして次にいよいよ文学作品の消化である。感じた内容には正解はないが、なぜそう感じたか、が最も大切である。そこに時代性を重ねて鑑みることによって古典を学ぶことができる。また愛情表現も時代によって国によって千差万別である。太陽の色もしかり。…そういったことをどう理解し、どう考察するか。だから文学は実学であるというのである。私の講義においては学生は少なくともここまでは理解している。またこの度、前述してをさらに深めるために「文学と性教育」という新しいテーマを掲げ、「性」とは「ころごしを持って生きることであり、本来の性教育（欧米）がめざしたものは広範囲な人間教育（全人教育）が中心である」ことが大変重要であるので、若い世代が新たな価値観を形成してゆく一助が性教育の本来の目的であるという説明を行った。この様に正しく理解して初めて正しい表現が出来ることを教示したが、一部の学生に伝わらない部分があったようで、今後は説明をわかりやすく改善しようと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>時折感想文を提出してもらったことがあったが、学びの自覚が感じられ、文学作品を理解する意気込みが感じられた。それは講義を重ねるごとに増してゆくものであった。80%である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容妥当性については、良かったと思っている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

リモート講義ではあったが学生たちの集中は途切れることなく反応はかなり良かったようである。学生の体調や講義の内容によって部屋を変えることもあったため、板書が見づらい学生がいたかもしれない。学生本人の機器の不調を訴える者もいた。また私の所有する国の文献等々は実際に見てもらいたかったがコロナのためままならず残念であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況の総括的評価としては、かなり良く、80%である。さらなる高みを目指して検討をかさねてゆきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	桐原 隆弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>テキストの内容を理解するために、テキスト準拠の書き込み式資料を配信した。</p> <p>テキストを読んで空欄に書き込み、授業で解説を受けることで理解を深めることができる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>今年度は試験ではなく毎回の小レポートと期末レポートで成績評価を行った。</p> <p>小レポートではできるだけ身近な課題（たとえば人格の尊厳と労働環境、討議倫理と合意形成）に哲学思想を結びつけるよう工夫した。明敏な問題意識を感じさせる答案も複数あり、次回授業の最初に答案例をくわしく紹介し、前回内容の理解を深めるよう工夫した。</p> <p>期末レポートは講義内容全体をふまえて、各自テキスト、配布資料等を読み直し、一定量の小論文を書かせた。全体に期末レポートの出来栄は良かったように思う。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

哲学思想を日常のさまざまな課題と結び付けて解説することを心掛けており、内容はおおむね妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

書き込み式資料をプリントアウトしていない場合に「何をしていたかわからない」ということになった可能性がある（複数コメントあり）。今年度はすべてオンライン授業であったため、授業への取り組み方についてクラスルーム等で指示すべきであったと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ただテキストの内容を理解するにとどまらず、哲学思想を日常生活のさまざまな課題に適用することを極力心がけた。コロナやウクライナ紛争など、世界観や価値観を動揺させる事態が続いている。哲学に何ができるか。微力ながら学生の助力ができるよう、時事問題も適宜取り入れながら工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化と国際理解	2	後期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目であるが、科目名は多様な内容を含んでいる。例年言えることだが、関連分野以外の学科の学生にとっては具体的に何を学ぶかをイメージしにくいことが課題として挙げられる。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」を動機とする回答が観光文化学科88.9%、看護学科100%に対し、英語学科では54.5%、福祉学科では75%と、学科によって開きがあった。開講時点で関心意欲がそれほど高い受講生もいることはある程度想定していたため、授業では毎回の授業内容に関わる様々な「確認チェック」という名のQ&Aに答える作業を行わせて彼らの関心を高めることを試みた。</p> <p>②本科目では授業によってが、専門的な用語が頻出するため、毎回の授業の終りに授業のまとめ問題を行わせ、授業内容を復習してもらった。今年度は14回すべての講義がオンライン授業のため、毎回の授業の課題としても提出させた。</p> <p>③授業の内容だけではイメージしにくい、「差別」そして「異文化対立」に関する具体的な映像を見てもらい、それぞれの動画内容について学生自身の考えをレポート形式で書いてもらった。</p> <p>④今年度の授業では受講者にテキストを購入してもらい、授業の前に関連個所の予習をしてもらった。特にテキストの中にある日本の学校制度と徒弟制度の意義に関する論文を読ませ、その内容に対する賛否と理由を書かせ提出させた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>本科目は4つの学科にそれぞれ所属する学生が受講していたが、トータルして最終的な成績の平均値は80点以上であった。さらに再追試対象となる学生はいなかったため、全員が標準的なレベルに達したと言える。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては本試験の対象問題の結果を見る限り80%以上であった。学生の到達度自己評価に関するアンケートでも、「自分なりの目標を達成した」の回答が4学科平均4.1であった。</p> <p>態度についてはオンライン授業の必須である毎回の課題や、複数回実施したレポート問題の提出が遅れる学生が一部みられた。ただその原因が当人の態度に問題があったとは言いつれネット回線のトラブル等の本人にはどうしようもない原因もあったため、提出が遅れた学生にはなぜ遅れたのか理由を書かせて再度提出してもらった。</p> <p>前年度の課題であった学習量の評価では「授業前の予習に30分以上かけた」と回答した学生が4学科合計で半数以上であった。前年度は半数にも到達していなかったため、大きな改善がされたといえる。今年度はテキストを購入させたことがこの結果につながったと考えられる。次年度もさらなる向上を目指していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性
本科目は選択科目ではあるが、総合人間科学の共通科目の位置にある科目である。総合人間科学のカリキュラムポリシーには幅広い教養と異文化理解の基盤を養うことを方針としており、本科目はその方針からみても内容的には妥当であると考えます。

②DP、行動目標からみても内容的妥当性
「知識理解」に関する達成度は4学科平均4.3以上と高い結果であった。「態度」に関する達成度は看護学科だけ平均値3.5だったが、それ以外の学科は平均値4.4以上であった。一部の学生によるオンライン授業課題提出の遅れ等の問題もあったが、学生たちの成績も一定以上であった前年度を上回っており、内容的には妥当であると考えます。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業評価においては、全ての評価項目で「そうでない」と回答した学生がほぼ無く、全ての項目において高評価が得られた。前年度の課題であった「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の回答の平均値も前年度を上回った。今年度は対面授業に切り替わるため、確認チェックに関する学生の意見を述べる場の提供やグループ討論を実施していきたい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

今年度は全ての講義がオンライン形式であり、対面形式のように学生が積極的に意見を述べる場を設けることや、授業内容に関連して学生の反応を見ることが困難であった。それでも全体的な成績の平均点が前年度を上回ったこと、知識理解、態度といった学生の到達度自己評価の平均値が前年度より向上したこと、学生による授業評価がほぼすべての項目で高評価であったことは大きな収穫であった。課題点であった授業前の予習量も（まだ半数以上ではあるが）大幅な改善がみられたことは予習復習も含めて授業の質を高めるという意味での目標が達成できたといえる。
課題としては復習時間のさらなる向上が挙げられる。この点に関して今年度は、授業の中で行っている小テストの範囲を事前に予告することで、学生にこれまでの授業内容を積極的に復習してもらう予定である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語発展	1	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は中国語の初級知識をマスターすることを目標としています。授業の実施にあたり大切にしていることは2つありました。1つは、学習者に中国語の文法をしっかりと把握してもらうこと、もう1つは学習者が楽しみながら、単語量をしっかりと増やすようにリズム感のある授業にすることです。</p> <p>②開講時に学習目標や学習方法、評価方法を明示した。毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示し、予習・復習してもらった内容は必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明しました。受講動機は「関心のある内容である」が81.8%であったので、大多数の学習者の受講動機に合ったものと考えられます。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①大多数の学生は毎回の授業に真剣に取り組み、各課の小テスト(全5回)の成績平均値は80点以上で、期末試験も優秀な成績(総合評価の平均点が83.3点)を収めた。</p> <p>②「学習量の評価」においては、⑤の6回を選んだ学生が最も多かった。</p> <p>③「到達度自己評価」の(1)～(10)の中央値は4.0であった。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性
本科目は「総合人間科学」に属する選択科目であるが、観光文化学科の「専門教育科目――中国語通訳ガイド演習や観光中国語など」と関連性を持つ重要な位置にある。学生により学習習慣を付けさせ、学生に分かる、できる、つながると感じさせることが最も重要だと考えて授業を進めた。学生が優秀な成績を収めたことから、内容的には妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性
「受講動機」は関心のある内容であったことや、「学習到達度の自己評価」において、(1)～(10)の10項目の中央値が共に4.0であることからみて、内容的には妥当であったと考えられます。
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

つねに学生の学習状況を確認し、無理のないように授業を進めた。
「授業の質の評価」の(1)、(2)、(5)の中央値はすべて5.0で、(3)の平均値は4.3で、(4)は4.2であることから授業の進め方は適切であったと言えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「授業の質評価」5項目の平均値はすべて4.2以上であることから、総括的に期待していた授業効果がほぼ得られたと評価する。
多人数のクラスで如何にしてすべての学習者に同等程度の授業効果を得られるかが課題です。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハンゲル発展	1	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期で習得した知識や学習のコツなどを踏まえて、さらに韓国語に対する知識を深く身に付けられるよう、筆記や会話の練習を取り入れながら分かりやすい授業になるよう心がけた。また、受講動機は「関心のある内容」が9割以上を占めていたこともあり、韓国の社会や文化などにも触れながら授業を進めていくことで、語学の習得と韓国社会や文化への理解の相乗効果が得られたと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては半数以上が完成度の高い内容の課題を出せるようになった。到達度自己評価の多くの項目において、平均値、中央値は平均4であることから、教育目標は到達したと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は語学学習を通じて韓国という国、地域、社会や歴史に興味を持ち、言語に現れる文化などの違いを理解し、また、習得した韓国語を実際に話してみることによって、異文化圏の人々との相互理解の一助になるものと考え、カリキュラムマップにおける本講義の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたりました。遠隔授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業の作成に臨んだ。結果、授業の質評価では平均4の評価が得られた。履修すべき語学の目標レベルには達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本講義は、前期で身につけた基礎的学力を踏まえて発展的な文法知識の習得と日常における実践的会話能力が備わることを目指しているが、講義の履修後にも韓国語を継続的に学習し続ける学生が少なくないなか、韓国語によるコミュニケーション力をもってして日本と韓国の相互理解を深めていける一助になれたのではないかと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	麻生 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フランス語発展	2	後期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>登録者7名中、5名から回答があった。志望動機は全体の80%が「関心のある内容である」と回答した。未知の語学であるフランス語に対する関心が高いことが分かった。その他の回答は「資格取得に必要である」「GPAをあげる」だった。教科書はフランスに実際に旅行することをイメージしながら学べ、写真が豊富で、web版の学習サイトとも連動しており自律学習が可能なものを採用した。2021年後期は全面的に遠隔授業を実施した。Google Classroom内にGoogle Formsによる「理解度チェック」の課題を設け、解説を読みながら質問に答え、オンラインでひとりで授業を受けるとしても無理がないように留意した。毎回のMeetで出席確認するとともに、前の回の復習としてスピーキングチェックを行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点（±24点）であり、全体の80%は理想的なレベルに達した。後期試験を受けた5名中、2名がA評価、2名がB評価だった。学習到達度の自己評価を目標別に見ると、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそうだと思う」と答えた割合は、DP1「知識・理解」、DP5「技能・表現」について、ともに100%だった。このことから学生の目標は「達成された」と思われる。学習量の面でも、100%が1回30分程度以上の予習・復習を週に1回以上行っていると回答した。40%は4、5回行っていると回答した。授業の課題以外に取り組んだ学習として、「フランス語の参考書を使って勉強した」「フランスのことについて調べた」「フランスのニュースを見た」「ある程度の予習をして授業に取り組むようにしていた」ということが挙げられた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価において、どの項目も評価は比較的高かった（平均値・中央値の平均はともに4.2）。高い評価となったのは、オンライン授業の性質によることも大きかった。評価基準はGoogle Classroomでの課題、期末テスト、Meetでのスピーキングチェックであることが明示され、課題の締め切り日が近づけばオンラインでリマインドされるので、提出を忘れることが少なかった。分からないことは各自で何度でもFormsの解説を読み返したり、音声を聞き直したりできる。Meetで直接質問に答える時間もあった。この授業は、内容的に妥当性があったものと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Meetではパワーポイント等のスライドを画面共有し、教科書の内容をテンポよく扱うことができた。クラスメイトと話し合って会話を披露する時間もほぼ毎回設けることができた。少人数のため、1回の授業で発言の機会がひとりでも何度も回ってくることもあり、緊張感を持って臨めたと思う。教科書以外の取り組みとしては、フランスの文化習慣に関するコラムや、フランスの最新ニュースの日本語訳とURLをClassroomにアップし、フランスやフランス語への多面的な興味・関心を引き出そうとした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年度の遠隔授業の反省をもとに、今年度は余裕をもって準備をし、課題の内容や量は妥当と評価されたものの、もう一段階レベルの高い授業を運営するにはさらなる工夫が必要と考える。次の授業が対面でも遠隔でも、それぞれの良さを活かせるように検討を重ねたい。対面授業ならば遠隔授業の効率の良さを、遠隔授業ならば対面授業のコミュニケーションの取り易さを、学生が実感できる授業づくりをしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	岡本 正宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理演習	1	後期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①ほとんどの受講生は、1年前期の情報処理基礎を受講しており、学生のこの授業の受講動機の70%は、関心のある内容であると答えている。</p> <p>②この講義は、コロナ禍以前は、EXCELの高度情報処理とデータベースソフトACCESSを用いたビッグデータ処理であった。</p> <p>しかし、コロナ禍の2022年度後期のこの授業は、対面ではなく、オンラインで受講させることになり、データベースソフトACCESSを個人のPCにインストールさせていない学生が多く、また、WindowsとMacユーザが混在していたため、EXCELの高度情報処理とEXCELピボットテーブルを用いたデータ集計・分析とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は、Aが8/10(10名中8名)、Bが1/10(10名中1名)、Cが1/10(10名中1名)で、良い成績であった。なお、1名がJ(放棄)であった。					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP1の知識理解については、(1)自分なりの目標を達したが3/10がかなりそうだと思う、5/10がわりにそう思うで、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができたが、7/10がかなりそうだと思う、3/10がわりにそうだと思うと回答している。

DP5の技能表現については、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができたが、2/10がかなりそう思う、4/10がわりにそうだと思う、4/10がまあまあそうだと思うと回答している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

コンピュータの演習を対面授業と遠隔授業で比較することは難しいが、遠隔では、学生の質問の数が対面の時よりも多く、個人授業のように気軽に聞けるようであった。ただ、授業内容があまり高度にできず、理解が早い学生にとっては、物足りなさを感じているような意見も出た。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

2022年度は、対面で講義をできる予定なので、コロナ禍以前のように、EXCELの高度情報処理とMicrosoft ACCESSを用いて、ビックデータ処理の講義を行う予定である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の過去・現在・未来	2	後期	選択	はい	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「地域創生」の中の科目であり、3年後期に設定されている。北九州についての基本的な知識を外部講師の講演から学び、地域や国際社会の課題について、自分が学んでいることをどのように生かせるのかということを考えるよう授業を設計した。全学共通で講座が開かれているので、オンラインのポスターセッションを実施し、それぞれの専門分野のことについて互いに学び合える場も設定した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員の最終的な成績が標準的なレベルを超えており、到達度自己評価では4つの項目についてそれぞれ1～3名の学生が「少しそうでないと思う」と回答しているのを除いては、肯定的な回答をしている。また、レポートや発表なども、専門教育科目で学んだことこの授業内で学んだことが反映された内容になっており、教育目標は概ね達成されたと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性
本科目は総合人間科学の「地域創生」の中の科目で、3年前期に設定されている。大学がある地域のことについて学ぶとともに自分の学んでいる専門分野をこの地域でどのように生かせるかということについても考える内容となっている。学生の成績についても、標準的なレベルに達していることから、内容的には妥当であったと考える。

② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性
DPの各項目について目標が達成されていることから内容的に妥当であったと考える。

③ まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、ほとんどの学生が全ての項目について肯定的な回答をしているが、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目について、1名の学生が「全くそうではないと思う」、2名の学生が「少しそうではないと思う」と回答している。遠隔授業の形態での実施で、250名を超える受講生であったため、学生が発言することもできず、チャットで意見のやり取りを行うこともできず、教員からの一方通行の形でしか授業を行うことができなかったので、対応に苦慮した。その部分を補完するため、Googleクラスルームやメールで常時質問等を受け付けるようにして対応した。学生の反応が見えないので、ほぼ毎回小テストを行なって、授業内容が学生に伝わっているかどうか確認しながら実施した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

最終的な成績や到達度自己評価から、地域のことについて学ぶとともに専門教育科目で学んだことを地域の中でどのように活かすかということについて考えることを通して、学びを深めていくという目標はある程度到達できたのではないかと考える。しかしながら、受講生がかなり多いため、授業運営上難しい面も多くあったため、大人数でも支障なく実施できるような方法を工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域プロジェクト	2	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「地域プロジェクト」では、地域を舞台に自分自身が活躍できるようになるために、自らの思考や行動をどのように変革したら良いかについて深く追究することを目的とする。</p> <p>本年度授業内容としては、本学と商船三井テクノトレード株式会社が締結した「教育事業に関する包括的な連携協定」に基づいて授業運営を行い、学生自らが地域活性化課題発見と企業・地域発展のための提案までのプロセスを学習・体験した。</p> <p>具体的には、北九州市門司港を起点に就航を目指す水素とバイオを活用したハイブリッド型先進船舶の活用プログラム企画開発を中心とした「Eco-SeTRA」プロジェクトを題材として取り上げた。学生は船舶運航はもちろん、観光、マーケティング、宿泊、保険など各事業分野の外部講師とのディスカッションを通じて本プロジェクトの商用コンテンツ開発を行うとともに、企業の事業開発と地域活性化の関わり、地域観光、地域マーケティング実務およびSDG's関連の実務的能力向上を目指した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。授業開始に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としては学生の理解度確認と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p> <p>また、授業の成果報告会を最終授業回に行い、学内外から高い評価を受ける結果を得た。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

企業とのコミュニケーションをベースとした課題の発見から独自の問題抽出・地域課題解決策の企画・提案という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

課題の発見から独自の問題抽出、地元企業とのコミュニケーション促進という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

上記4で述べたように学生の学習成果に関しては、問題はなかったと考えられる。今後は学内外の協力のもと、実行可能性のある計画を学生自身が思考することになるため綿密な授業計画が必要とされると考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初回に、この授業で労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連において自身のキャリア形成を考える力を身につけること、多角的な視点でキャリア形成をとらえられるよう多様な外部や内部の講師を招いていることを伝えた。また、初回では、主体的な意識で授業に臨めるよう、キャリアコンサルタント(外部講師)から学生と双方向的なやり取りをして、1年生の必須授業として受講を義務付けられているが受け身にならないよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解く力、自らのキャリア・デザインについて考える力は、各講義後の課題や、期末レポートで測った。特に、期末レポートでは、自分の望むキャリアにおける社会的課題を把握し、その解決方法について主体的に客観的に考えることができるかを評価した。レポート課題を出す際に、この評価基準を文書で説明し、キャリアをめぐる思考が個人的体験を根拠とすることにとどまらないこと、社会構造と関連づけることを明確にした。ほとんどの学生が基準を達成した。ただし、社会的課題の背景にある事象への言及が不足している学生が一部存在した。</p>					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができることを目的に、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説した。また、多様な講師が講義をすることで、現状把握はより深まったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義及びインターネット動画の鑑賞によって知識を得るだけでなく、労働法では招聘弁護士が自身の関わった事件から法律を解説したり過労死された方の遺族から具体的な困窮状況を話してもらったり、ほかにも専業主夫の体験談、本学卒業生の職業生活、キャリアコンサルタントによるワークショップなど、共感的に主体的に自身のキャリアの可能性や社会的課題を理解できるような内容となった。コロナ感染拡大防止のためにすべての授業はオンラインとなり、外部講師の講義もオンラインでの受講となった。そのため、チャット機能やグループフォームを活用し、随時学生からの反応を得ることができた。各回の感想及び授業評価アンケートをみると、概ね学生たちは集中して話を聴くことができたようであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

期末レポートなどから、概ね、学生が自身のキャリア形成について考える時間となったこと、自身の可能性について自信を持てるようになったこと、今後の学生生活の重要性に気づいたことは、評価できる。従来の課題は受講者人数が多いために個別的な対応ができないことであったが、本年度はオンライン授業の利点としてチャット機能などを活用し学生の意見を諮ることができた。次年度は対面で学生との活発なやり取りの工夫が求められる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実践キャリアプランニング	2	後期	選択	はい	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キャリア形成のために様々な知識を身につけておくことの重要性を理解してもらい、担当者の専門である社会学の知見を基にして自身のキャリアについて考えてもらうことを目的としている。本学科のアンケート結果では、「受講動機」で「関心のある内容だから」が多くなっており、本科目の意義についてはシラバスを通じて概ね伝わっているものと考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回、講義のあとに感想や自身の考えをコメントするよう求めたが、ほとんどの学生が真面目に受講し、自身のキャリアについて真剣に考えていることが伺える内容であったことから、本科目の目標は概ね達成できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの「自分なりの目標を達成した」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」などの項目で肯定的な回答が高い割合を占めていることから、内容は概ね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートの結果から、受講者の多くが本科目の予習や復習にはあまり時間を割いていなかった。自由記述の結果から、今年度は遠隔授業により学生の負担が増加していたことが伺える。学生にあまり負担をかけないよう配慮をしたつもりであるが、それは適切であったと考えられる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

アンケートの結果から、総合的にみて本科目の目標は概ね達成出来ていると考えられるため、次年度に大幅な内容の変更は必要ないと考えている。コロナの影響などで社会に様々な変化が生じている中で、今の情勢に応じた内容の講義となるよう工夫していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>世界遺産について単純な情報を提供する授業にならないように、それぞれの世界遺産の歴史的なこと、地理的なことにも言及し、内容を深めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない			やや達成された	やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受験資格のある学生のうち6名の学生が試験において目標としていた得点に到達できなかった。ただ一方で満点を取った学生もいた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

例年になく、自ら学習した受講生が多く、この授業が良い刺激となっていたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業で取り上げることのできる世界遺産の数が限られている中で、どうやって学生が自主的に取り組むようになるのかを考えていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

これまでにないくらい高い比率の受講生で世界遺産検定を受けており、授業をきっかけとして学習意欲が高まっているようである。今後は試験対策のようなことも授業に取り入れることを検討したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
観光産業論	1	後期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」77.8%、「単位数を確保する」55.6%、「必修科目である」25.9%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は86.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては96.3%、思考判断に関しては100%、態度に関する問題は96.3%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、33.3%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光産業論」となっており、観光産業の範囲・特徴及び各産業の実情について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が96.3%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が96.3%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が96.3%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光産業論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
航空産業論	2	後期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・様々な社会現象が、航空業界のどこに、どのように影響を及ぼすか想像できるように知識を養うことを主眼とした。知識の習得は、授業だけでなく様々な方面の分野からも可能であり、そのつながりがなぜなのかを理解し対策を構築できるよう思考回路を作ってもらいたい。</p> <p>・アンケートの結果、多くの学生が授業で十分理解できたと答えてくれたのは大きな励みである。反面、授業の課題以外に学習に取り組んでいないと答えられた学生も散見されたので、他の科目や、社会事象とのつながりを紹介しながら航空産業の課題を考えられるように指導したい。それにより、読書の幅を広げ、知識の習得に繋げて行きたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された		達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>・授業の質評価において、高い評価をしてくれた。また、担当教員への意見の欄でも、評価頂けたのは今後の励みとなる。</p> <p>・レポートの評価基準を明確にしていたのも、評価につながったと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・航空業界は、今やサービス業と考えられており業務知識の習得以外で、人間の感性を磨くことが求められている。本科目は、この業界が求めるものを同時に習得できるものであり、妥当と思われる。

・受講動機・・・76.9%が関心のある内容であることから受講していることからも伺える。

・学生の達成度自己評価において、ほぼ解答してくれた学生全員が自分の目標を達成したとしており、また、自由記述の項目では、「航空業界の内情を深く知ることができた」と評価してくれている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・教科書に示された内容に加え、各航空会社独自の施策などを交えて講義を組み立てた。これが、学生から授業の質評価で高いポイントを得られたと思われる。

今後も、実務経験者として、企業の本音の部分を示していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・学生から、お褒めの言葉をたくさんもらって、感謝しております。時代の流れから、大変難しい会社経営を強いられている航空業界ではありますが、夢のある職業として学生から多くの支持を得ている数少ない業種の一つです。更に興味をもてる科目にしていきたいと思います。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	後期	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」52.6%、「必修科目である」65.8%、「単位数を確保する」36.8%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は85.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、意欲関心に関しては100%、態度に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、2.6%で、インターネットの利用に関しては、34.2%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「ホスピタリティ論」となっており、インバウンド観光におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が94.7%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ホスピタリティ論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	3	後期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」70.0%、「単位数を確保する」57.5%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の9回目、10回目にグループごとにフィールドワークを行い、観光客のニーズに合った旅行商品の企画をした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は87.2点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては100%で、技術表現に関しては、100%であった。目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、技術表現での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、20.0%で、インターネットの利用に関しては、72.5%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「旅行商品企画論」となっており、観光客のニーズの変化を分析し、他地域と差別化できる九州の観光資源及び独特なもの・コトを考察し、九州におけるインパウンド旅行商品の造成を勉強しているの、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「旅行商品企画論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光社会学	3	後期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」66.7%、「単位数を確保する」60.0%、「友人が履修している」13.3%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は86.7点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては、100%、意欲関心に関しては、97.8%、態度に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、2.2%で、インターネットの利用に関しては、48.9%で、図書館とインターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光社会学」となっており、観光を捉える視点や方法を説明し、研究対象の新しい観光と多様化する観光形態を現代社会の動向に絡めて紹介する。また、観光社会学の事例研究の成果を解説する。

また、学生達の関心あることについて、話をする。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が2.2%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が4.4%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光社会学」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	井上 登美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
プライダル論	3	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この教科名はプライダル「論」と示されているが、机上の「空」論にならないよう、教科内容において学生の興味やモチベーションを持続させられるよう、できる限り多角的なアプローチを試みた。</p> <p>前年度の授業評価アンケートでは、受講動機として「関心のある内容である」が特に多く、その結果を踏まえ今年度もシラバスに沿った授業計画、その時々々の付加要素（視覚的に捉える資料の提示、興味の深度による対話形式等）を実施した。</p> <p>昨年度は、授業回数途中で対面授業から遠隔授業へのシフトの為、当初の授業計画（授業内容の実施方式・スケジュール）の調整を余儀なくされ、若干の修正が必要となった。しかし、今年度は当初から遠隔授業という明確な方向性を打ち出されていたため、遠隔とはいえ対面時と変わらない双方向授業を目標に、昨年度よりも更に「視覚」「聴覚」を意識して、授業内における「学生と学生、教員と学生」の一体感・空気感を、授業に参加している全員で共有できるよう展開した（つもりである）。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期初、受講登録者36名、成績評価対象者34名（残念ながら指導不足により、授業出席回数が満たない失格者2名）のうち、成績評価90点以上が19名（55.9%）、80点以上が14名（41.2%）、70点以上が1名（2.9%）であり、平均点は89.6点というかなり高い数値となった。</p> <p>授業評価アンケートの回答率は82.4%であった。</p> <p>「到達度自己評価」では、すべての項目で「かなりそうだと思う、わりにそうだと思う」が合わせて回答者の約80%を占め、「まあまあそうだと思う」を合わせるとほぼ100%となった。なかでも「知識を確認・修正したり、新たに得ることができた」という項目では、「かなりそうだと思う（50.0%）」、「わりにそうだと思う（39.3%）」を合わせ約90%の回答結果となり、「まあまあそうだと思う（10.7%）」を合わせると100%であった。</p> <p>また課題の学習過程では、資料収集の為の「インターネット利用」を約90%の学生が回答している。</p> <p>今年度の授業形態が遠隔授業のみというケースであり、教科の成績評価の中で大きな観点となる「グループワーク～各プロジェクトチームによる課題の対応～コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上」を実施するにあたり、グループ学生間の内容のすり合わせなどその方法について若干心配な面もあったが、上記以外のアンケート結果からも見受けられるように、大きな「達成感」や「自己肯定感」を感じてくれたようであり、結果として学生の成績が高評価点へつながったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本教科は、「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目である。</p> <p>学生が興味・関心をもって選択・受講するというのが第一義であり、それを裏付けるようにまた今回も受講動機として「関心のある内容である」が回答者の82.1%をしめている。次いで「単位数を獲得する」が約半数の46.1%となっており、合理的な側面も受講動機としてある。</p> <p>本教科についての内容的妥当性は、受講動機と照らし合わせ、前述4-(2)でも記したように、学生の「到達度自己評価」のすべての項目でほぼ100%が「そうだと思う」と回答しており、「自由記述：担当教員への意見」の内容からも見ることができる。</p> <p>知識・技術教育だけでなく精神面も成長・育成できるような教科教育が目標であり、今年度は（もしかかもしれないが）その方向へ進めたように感じている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの「授業の質評価」において、すべての項目で、「かなりそうだと思う」が回答者の半数の約50%を占め、「わりにそうだと思う」の約30%を加えると全体の約80%となり、「まあまあそうだと思う」を合わせるとほぼ100%となった。</p> <p>特に「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」においては、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」の合計で約90%、「まあまあそうだと思う」を合わせると100%の回答結果となった。</p> <p>受講学生においては積極的に授業に参加し、課題に取り組む姿勢が感じられた。グループワークを通し、資料収集や情報交換、ものごとに対する意識やコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上が認められた。</p> <p>授業各回の最終時に質疑応答の時間を設定していたが、レポート課題の説明等でうまく内容が伝わらなかった学生へは大変申し訳なく思う。更に細心の注意を払いたいと考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」教科であり、受講学生が興味・関心をもって受講し、モチベーションを持続してほしいと考え、伝えたいこと、感じ・考えてほしいことを主軸とし、多角的なアプローチを試みた。</p> <p>成績評価の数値や授業評価アンケートの結果から、教科の取り組みとしてその目標はある程度達成できたのではないかと考える。</p> <p>次年度の社会背景や時流を考察した場合、これからの授業形態がどのようになるのか想定できない部分もあるが、「対面」「遠隔」にこだわらず、毎回緊張感をもって臨みたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	若菜 啓孝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディアツアーリズム	3	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では「観光情報学」「地理情報学」の観点で、授業展開を行うものとし、これまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用方法に興味を示すように、多言語対応に活用可能なPapagoやVoicetraといったアプリケーション利用方法、テキスト音声変換方法、動画作成やYoutubeへのアップ方法などを授業に組み入れた。特に、今年度はARに関する実習やメタバースを用いたコミュニケーションも組み込み、観光業界で考えられる情報技術を体験させた。また授業資料に関しては、オンライン会議システムでの閲覧の他、LMSを利用した資料の提供、振り返りシート、課題提出を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①登録者16名中4名は2-3回目授業から欠席、12名中SやAに相当する学生数は1/3程度で、課題未提出者1名を除き、Bに相当する学生が多かった。 ②PC操作が苦手な学生ほど学習量が少ない傾向にあり、成果物の内容にも影響している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上からの内容的妥当性

これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。

②DP:行動目標からの内容の妥当性

現在、社会では様々な業務においてDX化が進んでいる。大学教育においても、数理・データサイエンス関連分野の教育も必須にもなっていることから、この観点でも、技能表現の面で、一般生活および観光関連で利用しているIT技術などに興味を持たせることができた。より多くの学生が受講前よりもPC操作が習熟・活用できるような内容は必要であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業進行は、毎回のリフレクション調査の結果に基づき、できるだけゆっくりと行った。

②オンライン授業にて、実習を行うことの難しさ（特に、操作方法のつまづきに対する指導の点）があったが、今年度は少人数の受講となったため、昨年度に比べスムーズに運んだと思われる。

③今年度、バーチャルオフィスの体験も兼ねて、オフィスアワーの時間をメタバースを活用して行ったが、今後も、このような試みが必要であると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

今年度、少人数の学生の受講となったため、グループ課題の制作ではなく個別の課題制作とした。したがって、個々が取り組むコンテンツ作成時間には例年より余裕を与えたこともあり、技能表現分野ではレベルアップさせることができたと思われる。さらにアップさせるには、より興味深い例題などを紹介および実践し、気分を高揚させることも必要と思われる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「消費者行動論」は「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためには、関連の専門用語の理解が必須である。その解説と理解促進に重点をおいている。授業テキストは特に用いていない。実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、2018年度より本学科のカリキュラム「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置された。その為、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、自治体など団体組織におけるマーケティングと消費者行動理解を促している。また、消費者行動に興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論の初学学生にマーケティング・消費者行動への興味・理解をさせるために新聞・テレビなどの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>毎年受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。昨年度より授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p>					
	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本年度はできなかったグループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題内容、レポート内容など工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ブランド戦略論	3	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ブランド戦略論は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科カリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されているが、初学者のため企業経営におけるマーケティングおよびブランド戦略の役割の理解に重点をおいている。また、ブランドへの興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用、理論的かつイメージ的に理解が進むような工夫をしている。学習準備性については、上述のように企業経営分野の初学学生にマーケティング、ブランドへの興味・理解を促進させるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>上記授業準備で述べた通り、初学者なため、あくまで「マーケティングにおけるブランドとは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティング、ブランドの基礎知識としての経営学初学者のため精緻に評価できないが内容妥当性の面では達成できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業の導入、グループワークの導入など授業の進め方については問題ないと考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標は達成されたとと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
デザインマネジメント論	3	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は2018年度からのカリキュラム改訂後の新科目である。デザインマネジメントは現在様々な企業が事業展開する際、デザインの考え方をそのマネジメントに導入しようという概念である。さらにはマーケティング特にブランド戦略論との親和性が高く、学生にもブランド戦略論との同時履修を促している。授業進行に関して重要視したのは、履修学生全員が初学者であるということと2020年度開始の科目のために学生の理解度の把握に焦点化した。そのため毎回授業コメント（感想、気づき、リクエスト、質問など）を提出させて理解度の把握に努めた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前述の通り、新科目であるため毎週軌道修正しながら授業進行した。本年度は予定していた外部講師授業やワークショップ形式授業はできなかったが、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示ください。

外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に実践的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経営学入門	1	後期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」80.0%、「単位数を確保する」70.0%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は88.6点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては100%、意欲関心に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、45.0%であった。インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「経営学入門」となっており、組織とマネジメントの概念や役割等具体的な内容に触れながら、人の強み・弱み、マネジメントとイノベーションの使命や方法及び戦略について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「企業での就職」をつなぐ要の位置にある「経営学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	堂野崎 融

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
簿記入門	1	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>簿記は経済的事象である取引を認識、測定し、勘定科目を用いて記録し、貸借対照表及び損益計算書を用いて伝達するための方法である。</p> <p>このことから経済的事象を認識するために記録方法を主体的に学び、その方法を演習していく科目である。</p> <p>しかし、簿記の方法を具体的な知識として定着させるには、経済的事象に結び付けて理解する必要があると考えている。</p> <p>そのため、授業内では、現実の取引において行われている内容について触れ、なぜこのような仕訳があるのか、またこの科目が伝達の際にどのように解釈されるのかといった点も含め説明を行っている。</p> <p>これらのことから、授業準備にあたっては、個々の企業の最新の動態などを新聞やニュース等で知っておく必要がある。</p> <p>さらに、簿記を習得するには、繰り返し学修（予復修）が重要なため、演習などを宿題等にし、これを毎回提出させていた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>評価割合は全体としてAが多かった。このことから、簿記についての知識理解についてはやや達成されたと考えている。また、仕訳における思考判断においても、Aの評価割合が高いことから、やや達成されたと判断する。さらに技能表現についても、最終的なテストにおいても全体的に評価割合に準ずる程度にできていたことからやや達成されたと判断する。</p> <p>以上のことから全体を通して他の平均からみてやや達成されたと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

簿記の手法は、万国共通であり、国際的企業及び地域に密着した企業もあることから、その方法を学ぶことは、重要であると考え。このことから上述の目標達成状況を見るに「やや達成された」と評価できることから、内容的妥当性はあると判断する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の担当教員への意見については、概ね好意的な評価であることから、授業の進め方の方向性としては妥当であると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

これまでのことから、経済的事象に関連する配布（もしくは提示）資料及び若干の演習課題を増加によって、全体的な向上が見込むことが出来ると考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスファイナンス	3	後期	選択	いいえ	62

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目におけるマーケティング・経営・経済に関する科目の一つである。観光系への就職を希望する学生が多い本学科において、とりわけマーケティング、経営、経済科目に関心を示す学生は決して多くはない。この点はアンケート項目における受講動機において「単位数を確保するため」と回答した学生が61.2%に及んでいることから明らかである。しかし、本学科は金融機関への就職希望者も比較的多いことから、授業においては財務諸表とは何か、について詳しく、かつ丁寧に説明し、財務諸表の基本的な分析方法を習得できるように授業を工夫している。具体的には、実在する企業の財務諸表（主にP/L、B/S、C/F）を適時紹介し、その分析を通じて企業の財政状態や経営動向などを説明している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケート中の「授業の質」という項目において（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、については平均点が4.3と高く、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、については平均点が4.3、（3）説明は理解しやすいものであった、については平均点が4.2、（4）授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、については平均点が4.0、（5）口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目については平均点が4.1であった。（4）については、上記（1）～（3）に比べてわずかながら低いものの、全体の平均点は高いことから本科目における教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目に位置付けられており、幅広い業界において必要不可欠なファイナンスの知識および財務諸表分析などの、いわゆるビジネス実務を学ぶ機会を設けているため、このような授業の在り方は妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業開始時において、学生にアンケートをとったところ、簿記の知識が全くない学生が比較的多かった。したがって、授業においてはそのような学生を対象に簿記入門レベルの知識を適時織り交ぜながら講義をおこなわざるを得なかった。したがって、本授業に関しては最低限簿記の知識を習得してから授業を受けることが望ましい旨を今後伝える予定にしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

4. で記述したとおり、本授業の教育目標は達成されたと考えている。しかし、次回の授業計画時には「簿記入門」の知識を必要とする旨をシラバスに記載し、より高度な財務諸表分析ができるように授業を展開していきたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 克典

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3	後期	選択	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>オンライン開講であることが分かっていたため、教材を出来るだけ分かりやすくリバイズしたり、分野によっては外部経営者との対談ビデオを用意し、その単元のリアルな状況を多角的に理解してもらえよう工夫をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>事業の質評価において全体の平均値4.4であることから教育目標は達成されたと判断します。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容
的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受験動機の最大の理由が「関心のある内容である」であり、本項目の学科平均値が49.2であったのに対して、該当科目での選択率が66.7%であった。そして、到達自己評価盲目において、(2)(3)(6)の項目がそれぞれ4.0を超えた数値であることから、内容的妥当性を有していると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、
インターネット利用」学生の意見など

振り返りの中で、学生からスライドの画面送りが少し早かったとの指摘があった。オンライン環境であることを考慮して、講義の速さも含め、もう少し
ゆっくりと展開すべき場面もあったと考える。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

本来はグループディスカッションなどアクティブラーニングの要素を取り入れた設計であるが、オンラインということで難しさがあつた。一部の受講生か
らは活発な質問等が出たが、その他の学生も意見したり、議論しやすくする学習環境の提供に関して今後研究の余地があると思われる。そのことで、学生
により深い学びを提供できるのではと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際関係入門	1	後期	選択	いいえ	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業の実施にあたって重点をおいたことは、わかりやすい説明を行い、講義内容への関心を維持してもらうという点である。2021年も全回オンラインでおこなったので、この点は特に気を付けなければならなかった。対面のように板書が自在にできないため、ほぼすべての内容をパワーポイントにしたことで、伝わりにくいといわれるようなことはなかった。</p> <p>②履修者の受講動機でもっとも多かったのは、「関心がある内容のため」の68.4%であったが、2020年度の86.4%より減っている。履修者数も減少しているが、同じ時間に他の人気講義が重なっていた可能性もあるのだろうか。</p> <p>③「学習準備性」という点に関しては、本講義が教科書を指定していないため、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにした。これは昨年と同じである。担当講師はいつも、「予習よりも復習に重点を置くことが肝要である」と学生に伝えている。また、宿題を提出してもらった際は当然その準備を学生に求めた。自由記述のコメントを見ると、「復習をする時間がなかった」という学生群と、「毎回の講義の感想コメントの返信がすぐできたため、復習の必要を感じなかった」という学生群に分かれている印象がある。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績評価は、宿題（30%）と学期末の試験（70%）の2つを柱とし、全回オンライン講義ながら最後の学期末試験だけは対面ですることにしてきた。だが、対面で試験はせず、レポートに変更をした。宿題は授業内容と関係のある英語の曲の歌詞を訳すものであって、ほとんどの受講者が提出し満点であった。試験と違ってレポートは、学生にとっても取り組みやすいため、みな高得点だった（受講者43人の総合得点の平均を計算したところ約80.58点だった）。</p> <p>「到達度自己評価」の数値でみると、この講義に最も該当するのは、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」という分野の数値であろうが、その内訳は、「まあまあそうだと思う」が7人、「わりにそうだと思う」が21人、「かなりそうだと思う」が10人であった。全回答者38人のうち、「そうではないと思う」は1人もいなかったため、この点は満足している。</p> <p>また、各回の講義でそれなりの量の文献を紹介しているが、「図書館利用」をみると、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」という項においては、38人中利用したのは1人であった。やはり、講義を聞いた後に図書館に行くなどしてほしかったが、オンラインではその気持ちが薄れてしまったのかもしれない。ちなみに、インターネットなどのホームページの利用は38人中13人であった。そのため意欲関心は必ずしも低かったとは言えないと思う。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 観光を学ぶ学生にとって国際政治の知識は不可欠だが、本講義ではそれだけでなく、外国語の読解にとっても必要な知識を提供している。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる背景文化についてそれなりに知識をもっていないと、適切な日本語に置き換えることはできないからだ。そうした講義の姿勢が妥当だったかどうかを判断するには、「授業の質評価」を参照する必要があるが、「説明は理解しやすいものであった」という項目で、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答をした学生いた（前者1人、後者2人）。しかし、38人の中で3人という数字であり、「わりにそうだと思う」（19人）、「かなりそうだと思う」（11人）が、38人のうち合計30人ということなので、問題はなかったと考えている（否定的な回答の方が多ければ、教員側の責任になると考えるべきだが…）。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容妥当性 提出されたレポートは、ほぼ私の講義を理解したことを示す内容のものが多かった。したがってDP2はそれなりに達成されたと考えている。DP3つまり意欲関心については、「自分なりの目標を達成した」という項目が、「まあまあそうだと思う」（11人）、「わりにそうだと思う」（18人）、「かなりそうだと思う」（7人）であったことから考えて（38人中合計36人）、それなりに達成されたと思いたい。以上から、内容的妥当性については問題ないと考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講者の自由記述の欄で、「授業が理解できなかった」、あるいは「面白くなかった」というコメントはなかった。オンラインという不便な環境の中で、受講者も頑張って聞いてくれた結果だと考えている。2020年度は、「少し説明がわかりにくい」というコメントが1件あったが、そうした評価がなくなったことは素直に喜ぶたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>やはりオンラインで行ったことによって、対面ではやれていたことができなくなってしまった。本来は動画や音楽などを使いながら、学生の関心を喚起してきたが、次こそは対面で講義ができるような状況になっていればと考えている（コロナの流行に左右されない社会になっていることを望むという意味で）。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
フィールドワーク入門	1	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」80.0%、「単位数を確保する」60.0%、「友人が履修している」50.0%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③講義の前半は座学で現地の概要について知り、また、調査項目を作成し、中盤は実際にFWに出かけた。</p> <p>④後半はFWの結果を分析、考察し、対象についての現状と課題をまとめた上で、パワーポイントを使用しての口頭発表を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては、95.0%、思考判断に関しては、95.0%、意欲関心に関しては、95.0%、態度に関しては、95.0%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、5.0%で、インターネットの利用に関しては、85.0%で、図書館の利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「フィールドワーク入門」となっており、北九州市を研究調査の事例として、地元の観光資源や文化地理を学ぶ。それと同時に観光産業界での就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「地元での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が95.0%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ツーリズム演習」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
イベント・テーマパーク論	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ツーリズムおよびビジネスの両コースに関連する科目である。そのためシラバスでもマーケティング関連科目、観光関連科目の積極的履修、あるいは履修していることを推奨している。この科目で両コースを選択している学生にとって関心のある科目のため、イベントの視点から地域活性化と観光の視点からのテーマパークを理論的、実証的に理解することを主眼としている。そのため北九州市内のテーマパーク運営会社の協力のもと、グループワークによる企画プレゼンテーションを取り入れてより実践的に理解できるよう工夫しているが、本年度は個人での企画プレゼンテーションの実施とした。テーマパークの企画・プレゼンテーションは学生の意見として充実度が高いとの感想があったため次年度以降も取り入れる予定である。授業テキストは特に用いず、担当教員の作成した配布資料で進行しているため特に予習は課していない。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

毎週軌道修正しながら授業進行したが、内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域活性化研究	2	後期	選択	いいえ	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業科目は地域活性化分野の応用的科目の性格を有することから、地域の現状と課題を分析していく際に欠くことのできないデータ解析の手法を中心に授業をおこなった。具体的には単回帰分析や重回帰分析を通じて、与えられたデータをどのように読み解くかに力点を置いた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価のすべてにおいて平均が3.6～4.5と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「難しかったけど為になった」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.3~4.8となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が少ない。この点はコロナ禍であったことから利用しにくい側面もあったと思われるが、次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域観光資源開発論	3	後期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。受講動機によると「関心のある内容である」と回答した学生が72.0%と高いため、この点を踏まえて地域観光資源の捉え方、着眼点を中心に授業構成をおこなっている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値が4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が3.9とそれぞれ総じて高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) について達成されたと判断できる。以上により、全体を通して教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機のうち「関心のある内容である」と回答した学生が72.0%と高いこと、また学習到達度の自己評価の平均値も3.9～4.2となっていることから内容的妥当性はあったものと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において平均値が4.1～4.2であるため、次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定であるが、シラバスを活用している学生が比較的少ないため、この点については授業開始時に授業内容を大まかに説明するなど工夫したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ニューツーリズム論	3	後期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ニューツーリズムというのは新しい概念であるため、学生の理解が難しいことを想定し、実例を多く挙げるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	評価において57名の受講生のうち、56名が「優」以上であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当と思われる。受講生のうち半数以上が「秀」の成績であり、学習内容がよく身につけていることが分かる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上述のように、受講生の成績がとても良く、このままの授業方法で問題はない。この方法を他の科目に生かしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

上述のように、受講生の成績がとても良く、このままの授業方法で問題はない。ただ、次年度はこの科目を担当しないため、それを生かすことはできない。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生は、英単語、多読、テエル、テキストなどさまざまな課題に取り組みなければならないため、常に鼓舞するように心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	退学により試験を受けなかった学生以外の全員が「優」以上の成績であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

上述のように受講生の成績が良かった。さらに。学生のコメントを読むと。自主的に英単語を学習していた者がかなりの数に上っている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の成績が良かったのは事実であるが、そこまで成績が良かったのから、もっとレベルを上げた教材を使用しても教育効果が上がったのではないと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の成績は非常に良く、自主的に学習もしていた。残念ながら、これを生かしたくても次年度はこの科目を担当しない。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	選択	はい	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をパーセントで示す。高い順で示すと、必修科目である(100)、単位数を確保する(66.7)、友人が履修している(44.4)、関心のある内容である(33.3)、資格取得に必要である(11.1)と続く。必修科目であり、確かに受動的動機が先に来るが、意欲的な動機づけがなされている学生もいた。5限目の授業であり、疲れを感じている学生もいた。理論的な説明を減らすようにして、対面授業のメリットを生かして、ペア学習、グループ学習の時間を増やして、アクティブな学習をさせるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価をパーセントで見ると、A (47.4)、B (21.1)、C (10.5)、D (5.3)、E (10.5)、J (5.3)であり、非常に高位層が厚かった。但し、下位層もいた。英語の力が大きく分離していた。上位層には学習が成立していたが、下位層にはそうではなかった。到達度自己評価は平均3.73。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生前期の英語必修科目の後を受ける後期の必修科目であり、英語の4技能中の読む、聞く、書くという運用能力を伸ばす科目であり、その位置づけは妥当と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は平均が4.2である。語学の授業は予習が前提であり、それをさせるために、授業前夜に締め切り期限を設けて、予習したテキストを撮影して、メール送信させるようにしている。これは二年前の一年生が提案してくれたことであるが、非常に効果的であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体的には英語の運用能力は伸びている。上の層は学習習慣をもっているので安心して指導が可能であるが、下位層は細かい指導が必要である。不可(E)が二名いたが、二人とも再試を受けなかった。その理由を、新年度に尋ねたところ、一人は再試の制度そのものを理解していなかった。このような学生も取りこぼさないようにする方策を考えたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	Leaver Soren Eric

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英会話	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、英語を理解し、基礎的な文法を使って英語を話す練習に重点をおいておりました。学生は準備を十分にしておりました。学生の参加意欲は だいたいに置いて高かったですが、授業日によっては学習意欲が低い日もありました。英語を使って基礎的な会話を少人数のグループでする機会が授業のなかで多く取れたと思います。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体としてのトータルの成績、理解度において達成できたと思います。準備は良くできておりました。インターネットの利用も理解し、課題提出はよくできておりました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生同士で英語での会話に挑戦することで、会話の機会が多くなり、それぞれの実質的な理解度を深めることができました。また文法学習を行い、その後反復して会話を行うことで文法を体感して捉えることができる利点があり、CP上での位置づけは妥当だと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回の授業では、私の教え方は効果的でした。学生とのコミュニケーションもよくできていたと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

このクラスの全体的な進行には満足しています。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中級英文講読	2	後期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>オンラインの授業であったため、学生の様子が分からず、授業の進度が早すぎたり遅すぎたりしないように心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生60名のうち41名が「優」以上の成績であった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

上述のように受講生の成績は良く、妥当であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業中に集中していないと思われる学生が時々いた。オンラインで顔出しは要求していないので、表情のチェックはできなかった。オンラインでも授業に集中できる方法を考えたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績はとても良く、対面授業でも大きく授業方法を変える必要はないと思われる。ただし、次年度はこの科目を担当しない。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>遠隔授業であり、指導者対受講生の一方通行ではないやり方をできるだけ取り入れている。対面時でもPCを使う授業であり、遠隔になった今回は、更にPC利用の時間的な割合が増えた。具体的には学生一人当たりの学習時間（アクティブに教材にコンタクトする時間）をできる限り増やすことを大切にしている。受講動機を比率（%）で示すと、必修授業である（100）、単位数を確保するとGPAを上げるが共に（7.7）であり、外圧的な動機付けの方が強い。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価をパーセントで示すと、A25、B25、C27.8、D11.0、E5.6、J5.6となる。AとBで50%である。音声録音して提出させたが、筆記の試験よりは、音声の方が評価が高く出た。自由記述では、8名が授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習を示している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年前後期の複数の英語科目から、2年前後期の必修科目とつながっている。その最後である。到達度自己評価の平均は3.74。語学の運用能力を高める最後の必修科目としての配置は妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

対面授業時に比べると、遠隔授業では本当に授業に参加しているのかの確認が困難な学生が一部いた。それらの学生も巻き込んで、学習をさせる改善策を考えたい。「学習量の評価」で、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習に、8名の意見が寄せられた。その中には「英文をたくさんを読んだ」もある。非常に好ましい姿勢であり、ありがたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

この授業の先行科目である、2年前期のマルチメディアイングリッシュ基礎の授業評価（2021）では、授業が担当者によって内容、進め方が違うとの不満が寄せられた。その改善策として、もう一人の授業担当者と連絡を密にして、できる限り内容、進め方の共通化を目指した。後期はその点は改善されており、同種の批判はなかった。しかしながら、どうしても「わかりやすい」授業が簡単な内容の授業へと傾きがちであり、質的に授業内容を担保されるように工夫を重ねていきたい。担当教員への意見に、進め方が早いと感じましたがあった。学習項目を精選することで対応したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>E-learningのCHleruを教材として英語を多面的に学ぶことを目的にしています。マルチメディア教室で学生が各自、PCを使用して自分のスピードで学習できるように大きな利点があります。特に各自の能力にあったスピードで学習が繰り返しできることから、学生一人一人のリスニングの向上と発音の上達を目標としています。具体的にはTOEICの450点レベルのリスニングができ、さらに基本的な母音と子音の聞き分けができ、その正確な発音ができることです。またディスプレイを見ながら、ブラインドタッチでの基礎的な入力ができることを目標にしています。そのため学生各自のPC学習の監督には特に力を入れ、またリスニング問題のスキriptから文法問題を作成し、授業中に配布実施を行い、学生のリスニング問題への理解度を更に深められるように配慮しています。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は80点であり、再試対象者は7名であった。必須科目のため、DPの評価において、多数の学生が真剣に取り組んだことが推測される。特に「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「課題を検討する力を得ることができた」「的確に判断する力を得ることができた」「意欲を深めることができた」等を高く評価した学生が多かった。これらはCHleruの内容を繰り返し学習し、文法問題で内容を定着させることで、自分なりの目標を達成できたと実感した学生が多かったためと考えられる。ただし、英語学習に必要な継続性や反復性を身につける作業が上手くできた学生とそうでない学生との差が後期試験の結果に表れたと考えられる。全体的に英語学習に対して前向きに努力する学生が多く、クラス全体も意欲的な雰囲気形成されたようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性：リスニング力強化を目標に、TOEICや英検などのリスニング対策をあわせて行うことで、ツーリズムおよびビジネスの専門科目の体系的学習を可能とする効果を多数の学生が体得できたと思われる。②DP行動目標からみての内容的妥当性：DPの評価に関しては多数の学生が各項目について高い評価を示していることから授業内容に納得していると考えられる。ただし「職業倫理や行動規範について学ぶ」「職業選択の選択参考」の項目は、比較的低い評価を示す学生が多く、質問と授業内容をリンクさせて考えることが本科目においては難しかったと思われる。以上のことから総合的に判断し、本科目は内容的妥当性には問題がないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題の明らかなさ」は評価が高く、オリエンテーションでの説明と授業中での指示を理解していたと考えられる。「説明は理解しやすかった」も評価が高かった。また学生は各自のスピードで学習できる環境から、ゆとりある語学学習ができたことに満足感と達成感を感じていたと考えられる。②学習量の評価：CHleru1500マイル以上の達成を課題にしていたので、予習復習を兼ねて各自でリスニング問題に取り組んだことが、学習量の評価につながったと考えられる。③情報利用：シラバスを参考にした学生は半数であり、シラバスあるいはオリエンテーションに沿って授業を受ける計画を立てた学生も半数以上であった。しかし、シラバスの内容理解にまでは至っておらず、オリエンテーションにおける授業計画を的確に明確に伝える必要性を強く感じた。④図書館利用：今期は遠隔授業となった為、学生にとって図書館利用が不便であった。そのためインターネット等での情報収集を推奨した。オリエンテーションでは授業内容の説明だけでなく、多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであると指導した。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

E-learningのCHleruを教材として、PCで学習するメリットが最大限生かされ、これが学生の自己達成度が高い評価を示す結果となったと考えられる。また、リスニング練習を通して、学生各自が自身の弱点に気づき、改善点を模索するという効果も得られた。さらに多くのリスニング問題に挑戦する姿勢がクラス全体に形成されていたこともプラスに作用したと考えられる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目名の通り、ビジネス英語に初めてふれる学生を念頭に置いた授業を心がけた。そのため受講生がイメージしやすいように、就職活動中の日本人学生が面接、内定、入社、想定される業務などを細かく説明している教科書を採用した。また英語のみならず、「ビジネス日本語」も取り上げて、実務の現場での臨場感を自らの体験に基づいて説明する時間も捻出した。受講人数が多かったため、フォローアップを充実させる観点から、毎回の授業終了直後に、Classroomの「授業」へ解答・解説のファイルをアップロードした。さらに授業開始時と終了時に質問や確認のための時間を作り、遠隔であっても対面と遜色ない授業を心がけた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中20.8と概ね良好な結果が得られた。定期試験については、50点満点中32.4であった。特に定期試験については、中間と比べて受講者間で得点差が大きかった。また数名の受講生が欠席過多による低得点や課題提出の誤りによる失格のため、結果として単位修得に至らなかった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習到達度の自己評価においては、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という設問に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択している点などから、内容的妥当性は確保されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年もコロナ禍による遠隔授業だったが、今年は昨年の知見もあり、開講時から概ねスムーズに導入することができた。対面授業と異なり、遠隔授業では学生の通信環境に差異が生じることがあったため、重要事項を何度か説明したが、すべての学生と円滑なコミュニケーションが取れたかという点については、やや疑問の余地が残る。また自由記述において、「授業を丁寧にするのはいいが進め方が遅い」「学習していないページがたくさんあり、教科書代がもったいなく感じる」などの指摘があった。教科書に書かれていることは必要最低限のことなので、そのための補足や関連事項を取り上げたのだが、教科書とのバランスが悪くなり、それが結果として、授業のスピードが遅い→教科書の未消化大につながったと考えている。受講人数が多かったため、必ず毎回1人に1回指名するという目標にこだわりすぎて、前述のような指摘が出たのも一因であり、大いに改善の余地がある点である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という評価項目に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択しており、ビジネス英語にまずは慣れ親しむという目標は達成できたと思われる。実際、自由記述においても、「他の先生より厳しいと思ったけれどおかげで英語の力はしっかり身についたと思います」など好意的なコメントが書かれていた点からもそれが裏付けられた結果になったと考えている。今後の課題としては、対面・遠隔にかかわらず、授業で消化すべき適切な量、特に教科書と教科書以外の学習内容のバランスを意識することである。今回は教科書以外の事項を盛り込みすぎて、結果的に未消化のユニットが出ってしまった。来年度の授業では、こうした点についての改善を図りつつ、「費用対効果」を意識した授業展開および運営を行っていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用TOEIC演習	3	後期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は多い順に「関心のある内容である」70.8%、「単位数を確保する」58.3%、後は同率で「資格取得に必要である」「GPAを上げる」と「友人が履修している」が12.5%である。最上位が能動的な動機付けであり、TOEICのスコアを伸ばすことを期待されていたので、それに沿った内容とした。自由記述で「授業の課題以外に具体的に取り組んだ内容」については、24名の回答者中の14名からの回答があった。授業での学びを定着させるために、授業外の取組が大事であると理解している学生が多かった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価は、A30%、B45%、C20%、D2.5%、J2.5%である。AとBで75%である。授業の質評価は平均4.2であり、学習到達度の自己評価は平均3.94である。学習量の評価では、回答者が最多のところを示す。準備について、30分以上の準備について⑤6回(3回、11回)が16名、復習については③2, 3回(1回、3～6回)が9名である。					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

知識理解（DP1）については、授業評価の2. 到達度自己評価の9（2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができたが、4.2である。受講動機は、「③関心のある内容である」が70.8%である。英語の必修科目が2年後期で終わっていることからすると、3年次の後期の選択科目として、学生が英語力を伸ばすためのカリキュラムマップ上の位置づけ通りに、履修してくれていることがわかり、内容的妥当性もあると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は平均4.2である。遠隔授業であり、学生の動きをコントロールできるわけではないが、一方的な講義の時間を減らして、学生に考えさせて、発言させる機会を多く設けることで飽きさせないことを目指した。対面が復活したら、グループワークもさせることができ、授業の活性化ができると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

履修登録者40名であり、前年より大きく増えた。学生はTOEIC資格が必要な者もあり、その期待に沿うように授業内容を精選して、可能な限り文法用語を使わない、わかりやすい説明をしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
応用英語通訳ガイド演習	3	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The second term course focused on providing Tourism Department students with an opportunity to improve their ability to translate Japanese culture for tourists and anyone else interested in learning about Japanese culture. We continued to use the textbook "This Is Japan" (Macmillan), which focuses on traditional aspects of Japanese culture through the experiences of an exchange student and a home stay family.</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The basic skills being utilized were both practical and useful. Students also had the opportunity to improve their technical skills and ability to study and work in an online environment. The average student took the opportunity to improve their skill set.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to integrate the huge amount of additional blended learning materials created over the past two years. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students. This was achieved while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past two years on behalf of the students and the institution.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

The workload this term was easily double that of a usual term, but the results of the work have been remarkably successful. It will be a relief to return to face-to-face classes after working so hard to maintain the academic standards of the university under such extreme circumstances.

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3	後期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>【重点項目】</p> <p>1. 航空会社の実務で使う英語は、一般の英語とは異なるため、通常の英語とは分けて理解させること、及び間違っても記憶しないよう使い方の違いに配慮した。</p> <p>特に、通信業務や、空港業務で使われる英語として、言葉や、メッセージ送信業務などでは、FULL SPELLを使わず母音を抜いたSPELL (Abreviation) で表すことが多い。また、聞き間違いが起らないように、会社ごとに決めたフォネティックコードを利用する。従って、世の中に通じる英語より、航空業界のみで使用される英語を、表記を含めて理解させることに務めた。</p> <p>2. 事前学習が困難なためと、特殊用語が多いため、用語の一覧表を項目ごとに作成し、授業開始時に配布し用語の解説と、どの場面で、どのように使用するかの解説を行ってきた。</p> <p>これにより、単位数の確保のために受講した学生でも、興味を持って受講してくれたことが、達成度自己評価 (1-4. 0), 及び (2-4. 2) からもうかがえる。</p> <p>【次年度に向けて】</p> <p>事前学習が個人では難しいため、事後学習を十分にできるよう授業中に配布する資料の活用を促していく。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された			やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業中での確認テスト、及び期末試験における理解度の確認による総合評価で、受講者中6割以上が、B以上の成績であり理解度の高さが確認された。学生の授業評価では、授業中に理解ができたとの評価が多かった。</p>					
<p>*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

航空業界は、常に即戦力になる人材の確保が重要であり、その意味からも、本科目は、知識の習得場として大変貴重なものである。航空業界を目指す学生のみならず、関連業種においても必要性の高い知識が得られることから、学生の関心も高い。航空業界も、今やサービス業と言われており、知識の習得のみならず、人格の育成が大事であり人間力を高めることの出来ることから内容的に妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業で使用するテキスト等の素材が少ないことから、現在は項目ごとに作成したプリントでの対応としている。事前、及び個人での学習が難しい（取り組み方が分からないとの意見あり）ことから事後学習に力を入れるように工夫を促していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

特殊な用語を多用するため、苦勞している学生が多かったが、興味のある内容であることから覚えは早かったように感じる。全体の成績も良かったことから、当初の学生が達成すべき行動目標は達成できた。

次年度においては、上記でも述べたが、事後学習（復習）がしっかりできるように工夫を行いたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年生を対象とする授業である。学習者が中国語の「入門中国語会話」を有する能力なので、引き続き中国語の特徴や学習方法を説明する。授業の中心は中国語の発音、基礎文法、会話などの学習と練習を通して、中国語の話し方、週間の表現等の特徴を理解し、基本的な応用能力を身に付けてもらうことである。更に中国語への理解を深めるために、中国の文化等を適宜に紹介する。学習者の学習への意欲を向上させ、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は92点であり、再試対象は0名であった。全員標準レベルに達したが、理想的レベル（概ね95点以上として試験の作成）②丹下学習者は11となった。学習による到達度自己評価においては、「知識を確認、修正したい、新たに得ることができた」、「新しい知識を身に付けた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたい意識を持つことができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」においては、平均4、5とやや高かった。授業の質評価においては「授業中、自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られている」など項目は平均5.0と高かった。次年度に常に学生を中心に、授業を取り組んでいかないといけないと反省点であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付けから見ての内容妥当性においては、本科目は「専門教育科目」であるが、「専門基幹科目」を繋ぐ必要の位置にある。内容的には妥当であるとする。DP行動目標から見ての妥当性においては、異文化、多言語の領域の成績は上昇したことから内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物等評価基準は明らかであった」「授業中に自分の意見などを纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文章等で学生の質問を受け、答える機会が作られていた」ほぼ全員と高かったと示されていた。次年度授業の改善点としては、学生に練習させる時間を多く作らなければならないと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

専門応用科目の入り口に当たる科目位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、コミュニケーションの能力の面で課題を残した。この点は学生に中国語で作文等を書いてもらっている練習を通して、効果ははっきり示されているので、次年度より綿密に実施していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コミュニケーション中国語	1	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. コミュニケーション中国語の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の66.7%を除いて、③「関心のある内容である」は100.0%で、「資格取得に必要なである」は33.3%であった。これらのことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 実際の受講人数が8名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができました。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、Meetの遠隔授業を行うことになりました。画面を通して学生たちが積極的に参加しました。ただし、対面授業と比べて、不足部分もあります。今後の授業いおいて、できる限り教師と学生の間ではなく、学生同士との間の会話場面や機会を増やしていくことに工夫したい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>1. B評価は6名、C評価は2名であり、最終的な成績の平均値は「83.6点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（遠隔の定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わすことができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。</p> <p>4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することが評価するべきです。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.3点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.3点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.3点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、各項目の平均値は4.3以上に達していて、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 中国語発展は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。
語学資格の取得を目指します。
3. 授業で
4. 実用性のある

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
上級中国語	2	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門基幹科目に当たる上級中国語は観光文化学科における教育の骨格となる分野の修得を深める科目である。上級中国語の能力の養成に重点を置く。具体的には中国語の会話、基本的文法を学習した上に基礎的な理解能力、表現能力等の総合能力の養成を目指した科目である。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は81点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベルは16名あった。学習による授業評価においては「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均3.5とやや低かったが。これは教科書がやや難しいことが反映されていたことである。次年度に教科書選定の見直しとコミュニケーションに力を入れる必要があると考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性

本科目は専門基幹科目であり、中国語通訳ガイド演習等の科目に繋がる科目である。学習者の総合的な視野と専門分野の理解に応えるから、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなどのプレゼンテーションについては学生が参加する機会が作られていた」の平均4.0とやや低かった。「説明は理解しやすいものであった」の平均4.5となった。教科書がやや難しいことや復習予習時間が想定より少なかったことが原因であると思われる。次年度に学生に授業への復習予習を徹底的に促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門基幹科目にあたる本科目の位置付けから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、表現力、総合応用力では課題を残した。授業後の復習時間が少なかったため、次年度しっかり復習課題の提示などで改善を図りたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目はツーリズム中国語および旅案内のノウハウを学習するものである。学習者に旅案内に必要な丁寧な言葉使い、はっきりとした発音を身につけ、中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解してもらうことに重点をおいた。</p> <p>②今年はコロナの影響で、当初の授業計画をやむをえず一部を変更したが、ネットの利便性や学習者がデジタルネイティブであることを活かした授業ができた。また、残念ながら実地練習はできなかったが、パワーポイントを使って発表させることで、学習者は写真やイラストを使って、ガイド練習することができた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①学習者全員各課で学んだ知識を応用し、パワーポイントを使用し10の場面において自分が住む街などをガイドすることができた。</p> <p>②「学習量の評価」においては、⑤の6回を選んだ学生が最も多かった。</p> <p>③「学習到達度の自己評価」の(1)～(9)の中央値は4.0であった。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性
本科目は観光文化学科の専門教育科目であり、重要な位置を占めている。旅案内に必要な語学力やノウハウをしっかりと身につけ、さらに中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解させることができた、内容が妥当であったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
「受講動機」として、「関心のある内容である」が75%で、「単位数を確保する」は50%であった。

③「学習到達度の自己評価」の9の項目の中央値はすべて4.0であった。
以上から、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、つねに学習者とコミュニケーションを取り、確認しながら進めることができた。
「授業評価の指標」の5の項目の平均値は4.1以上であった。
以上から、授業の進め方に問題はなかったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

コロナの影響で、遠隔授業になりました。オンライン授業の教授方法を研究し、多人数のクラスであったが、「授業の質評価」5項目の平均値がすべて4.1以上だったことなど総括的に見て、期待していた授業効果が得られたと評価する。来年度はこの経験を活かし、デジタルの良さを活かしたより高い授業効果が得られるように頑張りたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業開始直前に担当することが決まった科目であり、十分な準備ができなかった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	57名の受講生のうち30名が「優」以上の成績であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。上述のように受講生の成績も良く、学生のコメントを読んでも自主的に学習している学生が多いことが分かった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回は急に担当が決まり、準備にかかる時間がなかったが、次回に向けて今から授業準備をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

急に担当が決まり、十分な準備時間がなかったにもかかわらず、学生の成績を見ても学習の理解は進んだように思われる。さらなる高みを目指してがんばりたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理 II	2	後期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」86.4%、「単位数を確保する」54.5%となっている。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は85.4点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、技能表現に関する問題は100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、22.2%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「アジア観光文化地理Ⅱ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が86.4%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が95.4%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅱ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ欧米文化	3	後期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目名に「映画」がついており、映画を活用しての授業となる。しかし、授業内容にあった映画であっても、学生の趣向にあわない映画（例えば暴力的なもの）を提示しないように映画を精選した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	受講生65名中で49名が「優」以上の成績であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

上述のように受講生の成績が極めてよく、学習が身につけていることが分かる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上述のように映画を精選したつもりであったが、ストーリーが難解なものについては、素材が良くても受講生が関心をあまり持ってくれないため、映画の精選にあたってはストーリーについても考慮する必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の成績がとても良かったので、授業方法はそのままとし、映画の精選をさらに検討することにした。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論Ⅰ	2	後期	必修	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は北九州市総務局女性活躍推進課との連携で行った。受講生の関心度の高さが示すように間近に迫っている就職活動への準備喚起と何よりも学生自身のキャリアデザインの重要性、「働く意味」、「企業とは何か」を理解する点に重点を置いている。福岡県内特に北九州地域の様々な業界で活躍する外部講師によるリレー講義と担当教員によるキャリアデザイン理論で構成した。なお、本年度は就職課との連動・量力のもと授業展開した。外部講師は業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス（求められる人材）等の内容構成とした。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していないが、オンライン授業ということもあり、学生および外部講師とのコミュニケーションの取り方に配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの「到達度自己評価」から「達成された」が妥当と考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの受講動機、到達度自己評価（1）（2）から内容的妥当性はあると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているが問題は無いと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていいと思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性（インターンシップ先企業への依頼等）があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。
昨年同様、本学就職課長をはじめ課員の方々に多大なご協力をいただき、滞りなく授業を運営することができた。この場をお借りして感謝申し上げます。
ありがとうございました。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論 II	3	後期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は就職活動を半年後に控えた大学3年生を対象に、就職・キャリア支援を念頭に実施している。具体的には各自の自己分析をおこなった上で、ES（エントリーシート）作成の基本を理解し、集団面接・集団討論について、どのように取り組みべきかを学ぶ。なお、受講動機をみると「関心のある内容である」という割合が79.5%と非常に高い。この点に鑑み、授業においては実際に各学生に模擬ESを作成して頂き、どのような点が評価され、あるいは評価されないのかを詳しく説明することに注力している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価によると、平均値が4.1～4.4と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) は達成されたと判断できる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由意見の記述をみると、「面接やES,グループディスカッションなどがとてもよい経験になった」との記述があること、また授業の質評価も4.4~4.5と平均値が高いため、総じて内容は妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館,インターネット利用」学生の意見など

本授業では学生のESの書き方を指導し、また集団討論などの練習をおこなったが、コロナ禍の「遠隔授業」であったことから、時間配分など運営面で難しい点が多々あった。次年度以降は時間配分を考慮し、学習効果が高まるように工夫したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体としては教育目標は達成されたと判断できる。次年度以降については、学習効果が高まるように時間配分などを工夫したいと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」81.3%、「関心のある内容である」50.0%、「単位数を確保する」56.3%、「友人が履修している」25.0%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は90.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては、93.7%、思考判断に関しては、87.5%、意欲関心に関しては、87.5%、態度に関しては、87.5%、技能表現に関する問題も87.5%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、31.2%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「ツーリズム演習」となっており、九州と上海を研究事例として、観光マーケティングとインバウンド観光の理論を学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」93.7%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が93.7%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が87.5%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が87.5%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ツーリズム演習」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では九州と上海を事例とし、観光マーケティングの視点から九州を訪れる観光客数の動向を理解することを目的としている。受講動機をみると、「関心のある内容である」と回答した割合が29.4%と低い。そこで、九州の具体的な観光資源を織り交ぜ、学習の動機付けを図りながら説明をおこなっている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.4と非常に高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.0～4.2と高いため、思考判断 (DP2) から技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通して、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習量の評価をみると、「気になった点を調べた」など、学生が自ら主体的に調べる動機付けになっていることから、授業の内容的妥当性はあったものと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上記のように、教育目標は達成されたと判断できるため、引き続き次年度以降もわかりやすい授業を心掛けたい。また、授業を受けるにあたりシラバスを参考としている学生が比較的に少ないため、この点についても授業開始時に指示するなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業は、本学科が実施しているインバウンド観光研修や外国人観光客との異文化交流の基礎となるため、その点を常に意識し、次年度以降も教育目標を達成できるようにさらなる授業の工夫を行う予定である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域活性化演習	2	後期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は本来であれば企業とのコラボを通じ、地域活性化について実践的に学ぶ機会となり得たが、昨今の新型コロナウイルスの影響により、地域活性化の国内研究のレビューを中心に授業を行った。具体的には、学生自身が地域活性化の手法や事例について学べるように、発表形式にて行うなど工夫をおこなった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.5と非常に高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.2～4.4と高いため、思考判断 (DP2)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述の意見をみると、「この授業を通じて観光分野のみならず地方創生、経済も学べた」、「全国のことを知れて勉強になった」との意見が多かったことから、内容的妥当性はあったものと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の平均値は4.5～4.6と非常に高いため、授業の進め方については妥当性があったものと判断できる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては教育目標は達成されたと考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ゼミで少人数とはいえ、さまざまな性格、さまざまな関心を持つ学生がおり、それを意識して授業を進めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない		どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>新型コロナの影響により準備していたフィールドワークが実現できなかった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

予定していたフィールドワークの実施ができなかった中で妥当性の評価をするのは難しい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

新型コロナの影響により準備していたフィールドワークが実現できない場合に、少しでも代替となるものを検討する必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

次年度はフィールドワークができないという前提で授業を展開したい。実際にできるようになった場合には、フィールドワークを実施してさらに教育効果を高めたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3. 4年生の2年間の通称ゼミの一部である。最終的には4年次の卒業研究で卒論を提出するだけの力を身につける必要がある。そのために、3年後期には優れた文献を読み、まとめたり、発表するトレーニングが必要である。基本的にはそれを繰り返すことをルーティンとして毎回の授業で行った。受講生7名の少人数だった。授業評価には5名の回答があった。受講動機は、必修科目である(100%)となっている。続くのが同率で、関心のある内容である、単位数を確保する、GPAをあげる(20%)となっている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価をパーセントで示す。A(42.9)、B(57.1)で100%となる。到達度自己評価は平均4.42とかなり高いものだった。自由記述は、「新聞を読んだ」の一人のみだった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

知識理解（DP1）については、授業評価の2. 到達度自己評価は平均が4.42である。受講動機は、①必修科目であるが100%、③関心のある内容であると、④単位数を確保するとGPAを上げるが20%である。学生が内発的な動機付けで履修してくれていることがわかる。以上のことから、この授業の配置には内容的妥当性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は平均が4.32であり、比較的高い評価だと考える。学習量の評価では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に一人が、何をすれば良いかわからなかったとしている。少数の授業であり、わからない学生がいなくなるように丁寧な説明を心がけたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

総括的には学習成果が上がって、指定DPを伸ばす活動ができたものとする。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として4名が記している。その内容からは授業外の時間での自主活動（例、ビブリオバトル）を盛んにさせるようにサポートをすることが肝要だとわかった。本来は授業外ではなく、全員がその機会を得るために、授業として取組めるように改善したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習Ⅱ	3	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①専門演習Ⅱは4年生の卒論研究教育への円滑に行うための研究演習教育として位置づけにある授業である。まず、視野の広げ、判断力、分析力の学習方法を身に付けてもらう。ゼミに所属して専門的に学ぶ。「研究」「多読」「レポート作成」「文献の探し方」「発表の仕方」等により、実践的な力を身に付けることを目指す。</p> <p>②昨年度と同様に授業の最初に学習準備状況の確認を実施した。学習者の関心事を再確認した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として総合的に判断作成）に達した学生は3名と限られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性については、本科目は専門演習科目である。卒業研究を繋ぐ要の位置にある。内容的に妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が4.5となった。「説明はしやすく理解しやすいものであった」が平均は4.0とやや低かった。なお図書館利用においては、「この授業では図書館の図書、雑誌を利用した」の項目は基本的に利用しなかった。今後出来る限り図書館の利用習慣をつけていくよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門演習Ⅱは専門的知識の形成、判断力、分析力、実践力の養成については、概ね達成できたが、ゼミの担任として常に連絡し指導をしっかりと必要がある。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」25.0%となっているが、他の項目は0%となっており、履修者が「専門演習 II」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は93.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、75.0%で、インターネットの利用に関しては、100%で、学術データベースの利用に関しては、75.0%となっている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「期間内行すべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前年度の課題であった就職活動指導とマーケティング理論の基本的理解、課外活動との時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったため計画通りに遂行できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習は、卒業論文の作成を視野にそのテーマ決定のための準備段階として位置付けている。具体的には「観光ビジネス」、「観光経済」、「地域活性化」といった分野に関する国内外の論文を輪読し、議論を通じて知識の整理や理解を深めていくことに重点を置いている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.7であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.5～4.8と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「さまざまな論文を読んで卒業論文の参考になった」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.5~4.7となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が少ない。この点はコロナ禍であったことから利用しにくい側面もあったと思われるが、次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業論文執筆において、執筆のスピードが遅れると内容も雑になる傾向があるので、執筆のスピードについて厳しく指導をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	卒業論文に使うデータや文章を集めても学生がそれを原稿に打っていないことが多く、執筆に余計な時間がかかる結果となっていた。そのようなことについて私の指導不足であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の自由記述を読むと、この科目で大変満足していたことがよく分かる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1名の学生の卒業論文執筆が遅れぎみであった。今後、同様の学生が出た場合には授業内のみならず授業外でも指導することを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

大切にしている卒業論文執筆のスピードについては、さらに徹底して指導を行いたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を生かしながら、学生各自がそれぞれの専門領域における学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しを持って一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは本学習の狙いである。従って、本授業は、先行研究の成果を収集する力、それらを批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、仮説を論文として展開する力等を養うことに置くことであった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生による授業評価においては、目標別に見ると、自分なり目標を達成したことに関しては、全員が比較的に達した。知識を確認、修正したことや新たに得ることができたこと等に関しては、理想的レベルに達した。卒論を書くには論理的に筋道立てて考え、学生自分の言葉でわかりやすく、口頭及び論文で述べる能力を習得できている理想的レベルに達していないが、標準的レベルに達している。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップ上の位置付から見ての内容的妥当性については、学科は卒論研究は4年集大成の位置にあり、必修科目である。学生の成績を収めていることから、内容には妥当であると考え。行動目標から見ての内容的妥当性においては、学生が積極的に課題を考え、問題を思考判断として、何を論述するかが確実に把握できたことから成績は上昇したことも、内容的には妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に自分の意見を纏める、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が5.0となり、「口頭発表、文章等の学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均4.5となった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均が5.0と上がった。次年度に向けて、さらにしっかり確定しながら、学生の質問を受付、答える機会を作り、学生に授業に参加するよう促していききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

卒業研究に当たる本学科の位置付から、4年間の勉強の集大成の形成については、概ね達成できたが、この授業を履修する際にシラバスの活用等を図りたかったが、無視されていて、次年度しっかり確認してもらおうよう促していききたい。また毎回の狙いを具体的に示すこと及び可能な限り卒業論文を独特に考慮するように改善していききたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」8.3%となっており、履修者が「卒業研究」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫が必要と思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は93.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館に関しては91.7%で、インターネットの利用に関しては、83.3%で、学術データベースの利用に関しては50.0%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「卒業研修」であるが、「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われませんが、教育方法をさらに検討する必要があると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が各自で選択した卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力要請に重点を置いた。学生も資料収集及びアンケート調査など例年になく制約を受けたにもかかわらず、各学生は2週に1回の研究進捗状況の発表に熱心に対応した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価についてはやや達成されたとされるが、アンケートにおける学習量の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な課題と考えられ、改善を要する。改善方については、課題量の検討、研究の質的な向上を常に意識させる。ただし情報利用、図書館利用についてはコロナ禍で制約があった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が課題である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習科目は1年間を通して卒業論文を作成・提出することを目標としている。具体的な指導方法としては学生の研究発表を通じて、論文目次の作成から先行研究の調べ方、論文の論理展開、参考文献の書き方などを中心におこなっている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.4であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が3.9～4.1と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価に関して5つの項目すべてが平均値4.3~4.5となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみるとCiNiiなどデータベースを利用した学生は多い。しかし、図書館を利用した学生が少ない。この点はコロナ禍であったことから利用しにくい側面もあったと思われるが、次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。